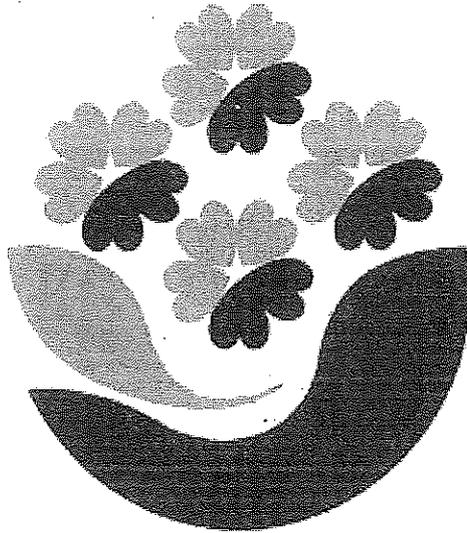


令和7年度

四街道市特別支援連携協議会  
(第2回)



四街道市教育委員会

令和7年度 第2回 四街道市特別支援連携協議会 開催要項

令和8年1月28日(水) 14:00～  
四街道市役所第二庁舎第2会議室

1 開会

2 座長挨拶

3 議題

(1) 報告

- ①令和7年度特別支援体制推進事業の成果と課題について
- ②令和7年度青い麦の子振興ふれあい運動会について

(2) 協議

- ①令和8年度 of 取組について

4 閉会

## 令和7年度 特別支援連携協議会委員

任期 令和7年4月1日から令和8年3月31日

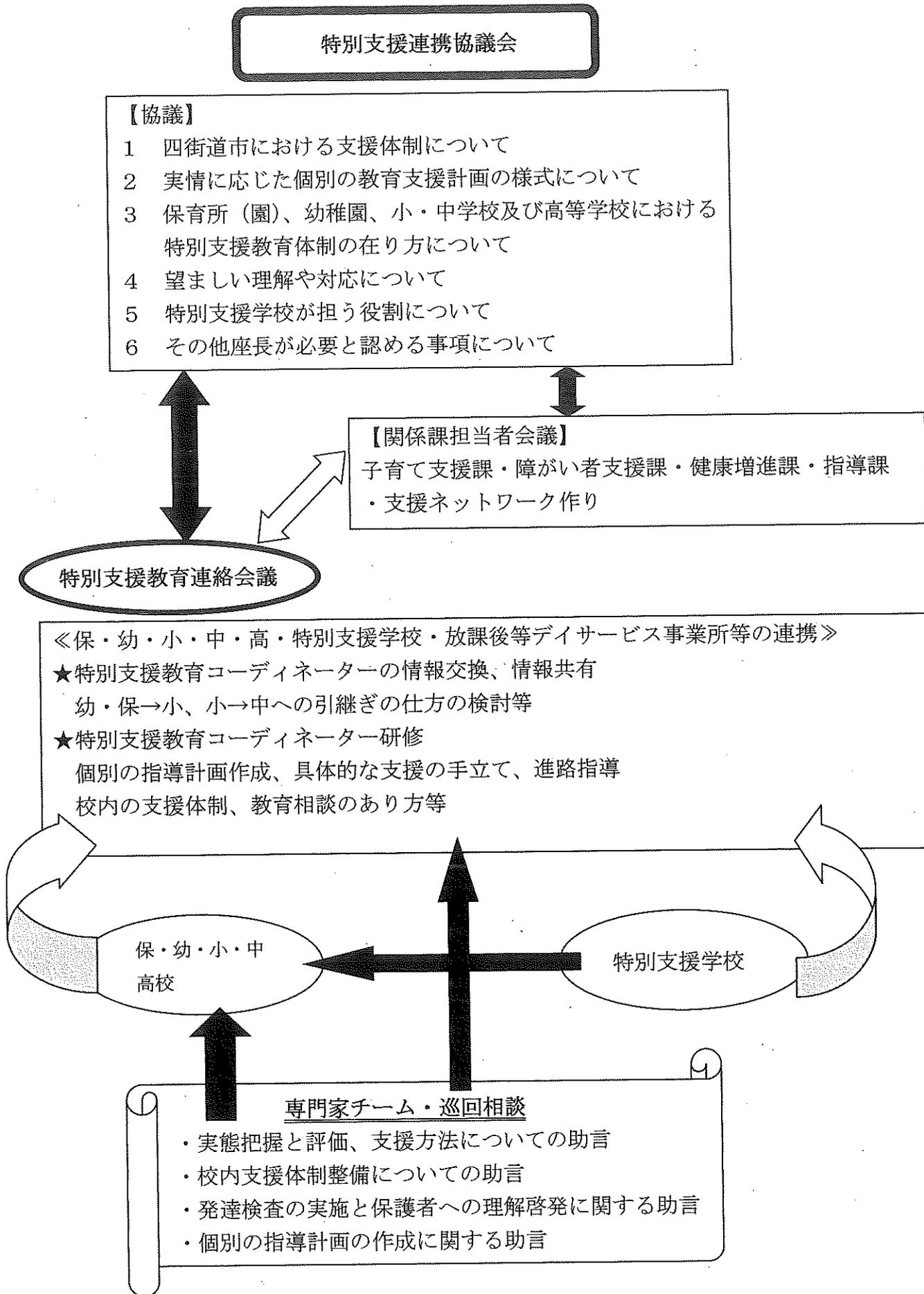
氏名	選出区分	備考
角田 哲哉	学識経験者	放送大学 教授
眞山 義民	医療関係	四街道すくすくこどもクリニック
塩田 花子	保健関係	健康増進課長
安永 純子	福祉関係	障がい者支援課長
久保木 直樹	福祉関係	子育て支援課長
早野 良子	保育関係	四街道市立中央保育所長
岩井 玲子	療育関係	児童デイサービスセンターくれよん所長
高倉 幸世	教育関係	認定こども園第二コスモス幼稚園長
安部 健	教育関係	四街道市立吉岡小学校長
鎌田 絵里	教育関係	千葉県立四街道特別支援学校長
横田 弘之	教育関係	千葉県立四街道高等学校長
神子 真二	労働関係	公共職業安定所ハローワーク千葉 所長
川野 優	関係機関	いんば中核地域生活支援センター「すけつと」所長
上田 朋弘	関係機関	千葉県教育庁北総教育事務所 指導室指導主事
五十嵐 雅子	市民	発達支援サークルすてっぷ代表
小島 貴子	市民	クレパスの会代表

令和7年度

四街道市特別支援連携協議会  
(第2回)

資 料

四街道市教育委員会



## 令和 7 年度特別支援体制推進事業の成果と課題について

## 1 特別支援連携協議会

## (1) 構成

区 分	所 属 ・ 職 名
学識経験者	放送大学教授
医療関係者	小児科医師
保健関係者	四街道市健康こども部健康増進課 課長
福祉関係者	四街道市福祉サービス部障がい者支援課 課長
福祉関係者	四街道市健康こども部子育て支援課 課長
保育関係者	四街道市立中央保育所 所長
療育関係者	児童デイサービスくれよん 所長
教育関係者	第二コスモス幼稚園長
教育関係者	四街道市立吉岡小学校長
教育関係者	千葉県立四街道特別支援学校長
教育関係者	千葉県立四街道高等学校長
労働関係者	ハローワーク千葉 所長
関係機関担当者	いんば中核地域生活支援センター「すけっと」 所長
関係機関担当者	千葉県教育庁北総教育事務所指導室 指導主事
市民	発達支援サークルすてっぷ 代表
市民	クレパスの会 代表

## (2) 会議内容

## ①第 1 回

- ア 日 時 令和 7 年 7 月 8 日 (火) 14:00～16:30  
 イ 場 所 四街道市役所第二庁舎第 2 会議室  
 ウ 内 容 ○各関係機関・団体等における現状と課題について  
 ○四街道市の特別支援教育の現状と今年度の取組の重点について

## ②第 2 回

- ア 日 時 令和 8 年 1 月 28 日 (水) 14:00～16:30 【予定】  
 イ 場 所 四街道市役所第二庁舎第 2 会議室  
 ウ 内 容 ○特別支援体制推進事業の成果と課題について  
 ○来年度に向けて 等

## (3) 成果と課題

## ①成果

- 平成 19 年から年 2 回連携協議会を行い、本市の特別支援体制等について意見交換を行っている。教育、保健、福祉、労働の各関係機関や保護者の代表がそれぞれの立場から、子どもたちへの支援の在り方、各関係機関との連携の在り方等について話し合うことができた。

## ②課題

- ・一人一人の子どもにあった進路を見つけていくことができるよう、それぞれの機関で何ができるかを情報共有し、よりよい支援につなげていきたい。未就学児童のスムーズな就学に向けて体制を整える必要があると考える。

## 2 特別支援教育連絡会議

特別支援連携協議会の作業部会として、平成18年度より特別支援教育連絡会議を組織している。

- (1) 目的
- ・四街道市内の特別支援教育に関するネットワークを作る。
  - ・特別支援教育に関する研修を深め、特別支援教育コーディネーターのスキルアップをめざす。
- (2) 参加者
- 市内小中学校の特別支援教育コーディネーター、通級指導教室担当者、近隣特別支援学校の特別支援教育コーディネーター、市内保育所(園)・幼稚園職員、市内高等学校担当者、市役所関係課(健康増進課、子育て支援課、障害者支援課)担当者、児童デイサービスくれよん担当者、放課後等デイサービス職員、下志津病院臨床心理士

### (3) 会議内容について

#### ①第1回

- ア 日時 令和7年6月11日(水) 14:00~16:30
- イ 場所 四街道市文化センター
- ウ 参加者 67名
- エ 内容
- ・令和7年度 特別支援教育体制推進事業について
  - ・関係各課担当者の紹介
  - ・特別支援学校のセンター的機能の紹介
  - ・情報交換

#### ②第2回

- ア 日時 令和8年1月14日(水) 14:00~16:30
- イ 場所 四街道市文化センター
- ウ 参加者 56名
- エ 内容
- ・児童生徒の就学の流れについて(就学支援シート・サポートシート)
  - ・福祉関係機関・小中学校特別支援学級の状況等について
  - ・小学校卒業後の進路について

### (4) 成果と課題

#### ①成果

- ・保育所(園)・幼稚園、小中学校、高等学校、特別支援学校、放課後等デイサービス、関係各課の支援ネットワーク作りをすすめることができた。

- ・特別支援教育コーディネーターが、互いに特別支援教育の支援体制について情報交換を行ったり、特別支援学校からの助言等、校外からの支援を積極的に取り入れるようになったりとネットワークを生かし、必要な連携を図ることができた。
- ・それぞれの立場から特別支援教育、スムーズな就学について、情報交換することができ、参加者のアンケートからも有意義な時間であったとの回答が多かった。
- ・参加者より、各機関の情報提供を聞くことができ今後も、様々な機関の取組を知りたいとの意見が多くあった。

## ②課題

- ・特別支援教育コーディネーターが各学校の中心となって活動できるよう、一層スキルアップを図るための研修を企画していきたい。
- ・各学校において、特別支援学校と連携してその専門性を伝えてもらう機会が少なかった。連携して支援が充実した事例を周知することで、特別支援学校から学ぶ機会を増やしていく。
- ・連携をスムーズにするために、それぞれの機関の内容や役割、連絡の取り方についてさらに周知する必要がある。

## 3 関係課特別支援担当者会議

### (1) 構成

障がい者支援課課長補佐・主任主事  
健康増進課主査補  
子育て支援課主事  
指導課指導主事

### (2) 会議内容について

ア 日 時	令和7年5月20日(水) 16:00~17:00
イ 場 所	保健センター2階
ウ 内 容	・就学相談、医療的ケア児について ・相談支援ファイル「にじいろサポート」の周知について

### (3) 成果と課題

#### ①成果

- ・それぞれの課で把握している就学前児童、医療的ケア児について、その都度、情報共有し、保護者から相談が入り次第、当課につなげていただくことでスムーズな就学相談ができた。

#### ②課題

- ・市全体を通じて、保護者の意向に寄り添いながらも児童の状況に合った就学ができるよう、さらに体制を整えていく必要がある。
- ・各課とも急な相談や訪問への対応が入ることで日程調整が難しく、定例会は1回のみであった。

#### 4 専門家チームの活動

(1) 目的 専門家チームによる巡回相談の在り方を検討したり、事例検討を行ったりして、市内小・中学校の特別支援教育の推進及び校内体制の整備を図る。

#### (2) 構成

区分	所属・職名
関係機関担当者	千葉県教育庁北総教育事務所指導室 指導主事
学識経験者	四街道市巡回相談員
学校関係者	千葉県立四街道特別支援学校 特別支援教育コーディネーター
学校関係者	千葉県立千葉盲学校 特別支援教育コーディネーター
学校関係者	千葉県立印旛特別支援学校 特別支援教育コーディネーター
学校関係者	四街道市立中央小学校
療育関係者学校関係者	児童デイサービスくれよん 児童発達管理責任者

#### (3) 活動内容

##### ①専門家チーム会議

##### ○第1回

日時 令和7年5月16日(金) 15:00~16:30  
 場所 四街道市青少年育成センター2階  
 内容 ○四街道市の現状について  
 ○特別支援教育の推進について  
 ○特別支援体制について  
 ○令和7年度の活動について 等

##### ○第2回

日時 令和8年2月25日(水) 15:00~16:30【予定】  
 場所 四街道市青少年育成センター2階  
 内容 ○令和7年度特別支援体制推進事業の成果と課題について  
 ○青い麦の子振興ふれあい運動会について  
 ○令和8年度の取組について 等

##### ②巡回相談

ア：小学校特別支援学級・保育園への支援

<派遣先及び派遣日時>

○四街道小学校 令和7年11月 1日(金) 14:10~16:25

○まちの保育園成山 令和7年 7月17日(水) 10:00~12:00  
<内 容>

○四街道小学校

- ・特別支援学級の運営、特別支援教育コーディネーターとしての役割、
- ・授業以外の生活指導等についての指導・助言

○まちの保育園成山

- ・対象児に対して卒園までの期間、就学に向けて保育園で行っていくべき支援及び指導
- ・対象児に対する指導の仕方、話し方などの助言
- ・保護者に対する助言や支援の仕方

イ：「専門家チームによる相談」の実施

目 的 児童生徒への支援方法等に不安や疑問を抱える教職員へ専門家チーム委員が助言を行うことで、教職員のスキルアップを図るとともに、支援の充実を図る。

対 象 特別支援学級担任経験1～3年目(7年度末)の職員  
保育所(園)・幼稚園・認定こども園年長担当職員

相談方法 二次元コードを用いた紙面相談

(3) 成果と課題

①成果

- ・上記の巡回相談の中で特別支援学級担任の学級経営や支援方法での悩みを聞き、指導助言をいただくことができた。

②課題

- ・専門家チーム委員が、学校訪問により、対応が難しい子どもたちへ指導・助言を行うことができるよう、ケースに応じて事務局でコーディネートしていく必要がある。

5 発達相談

平成20年11月より、指導課で四街道市巡回相談員による発達相談を実施している。

(1) 巡回相談、来所相談による発達相談 (令和7年12月末現在)

①相談の件数 59件

②対象 市内小学校に在籍している児童生徒及びその保護者  
市内の小中学校に勤務している教職員  
市内在住で令和8年度に就学予定の幼児及びその保護者

③相談内容

- 日数 46日 (60日/年)
- 諸検査の実施 55件 (WISC-IV 54件、田中ビネー1件)
- 授業参観・報告 2件

○面談（検査報告を除く） 2件

○児童生徒等に係る相談件数 児童生徒 54件14校、就学前児5件

## (2) 成果と課題

### ①成果

- ・市内小中学校では巡回相談（発達検査）による指導助言を生かした支援に努めている。支援の充実に向けて市巡回相談員の果たす役割は大きい。

### ②課題

- ・発達検査の依頼は年々増加しており、週1回の市巡回相談員による発達相談だけでは、対応が難しくなっている。
- ・発達検査に至るまでのプロセスについて、各学校でも校内でよく検討してもらう必要がある。
- ・外国籍児童のアセスメントや検査の方法について体制を整える必要がある。
- ・今後、医療機関との連携が必要と思われるケースが多くあるため、学校が必要に応じて対応できるよう、保護者の理解を得て医療機関につなげることの重要性について研修内容に入れていきたい。

## 6 教職員等の研修（市主催研修）

### (1) 特別支援学級担任・特別支援教育コーディネーターの研修

令和7年4月18日（金）15:00～16:30 オンライン

テーマ 「特別支援学級の運営と教育課程の編成」  
「特別支援教育コーディネーターの役割」

講師 四街道市教育委員会指導主事

対象 市内小中学校の特別支援教育コーディネーター

参加者 17名

### (2) 一般教職員の研修

令和7年8月18日（月）14:00～16:30 南部総合福祉センター

テーマ 「通常の学級における特別支援教育の推進」

講師 船橋市立薬円台小学校 教諭 大山 恭子 先生

参加者 38名

対象 市内小中学校教職員

市内幼稚園・保育所（園）教職員

県立特別支援学校教職員

市内高等学校教職員

福祉関係課職員

※ 後日オンデマンド配信実施（市内小中学校・保育所（園）・幼稚園）

### (3) 特別支援教育支援員の研修

①令和7年4月7日（金）15：00～16：00

場 所 旭公民館

テーマ ・特別支援教育支援員としての心構え  
・サービスに関する事務処理について

対 象 市内各小中学校に配置される特別支援教育支援員

参加者 40名

②令和7年7月18日（金）14：30～16：00

場 所 南部総合福祉センター

テーマ 「特別支援教育支援員の役割と学級担任との連携について」

対 象 市内各小中学校に配置される特別支援教育支援員

参加者 40名

#### (4) 成果と課題

##### ①成果

- ・通常の学級担任を対象とした研修では、通常の学級における支援を必要とする児童生徒への対応について、講話をいただき、適切な支援について考えることができた。
- ・校内支援体制を整えていく上で、重要な役割を担う特別支援教育コーディネーターが参加する研修会を実施することができた。年度始めに研修会を実施することで、四街道市の特別支援教育の相談支援体制等について理解を深めることができた。
- ・特別支援教育支援員の研修会では、特別支援教育支援員からの事前のアンケートをもとに、講師の先生に講話をしていただいた。特別支援教育支援員が日頃の児童生徒の支援や職員との連携について困っていること等、適切な助言をいただくことができた。

##### ②課題

- ・特別支援教育の相談体制等の進め方については特別支援教育コーディネーターだけでなく、管理職への周知が必要である。
- ・特別支援学級の増加により、経験の少ない担任が増えているため実践的な研修を実施したい。
- ・通常の学級担任の研修の参加について今後もさらに呼び掛け、それぞれの子どもたちにあった支援ができる教職員を育てていく必要がある。
- ・特別支援教育コーディネーターの役割について、校内支援体制が構築できるよう実践的な研修を実施したい。

#### 7 医療的ケア児への支援

令和4年度より看護師を配置している。

令和4年度は市の会計年度任用職員の看護師であったが、令和5年度より、訪問看護ステーションへ委託し、令和7年度は小学校2校へ看護師の派遣を行っている。

##### ①成果

- ・訪問看護ステーションへの委託での派遣になり、児童が安心して学校生活を送ることができた。
- ・看護師から保護者や教職員への説明も適切に行われ、保護者、教職員が児童への支援方法を共通理解し、支援にあたることができた。
- ・学校、看護師、家庭の連携を密にし、円滑に支援が行われていた。

## ②課題

- ・今後、医療的ケアの対象児童の入学が増えることが予想されるため、関係各課、訪問看護ステーションとの連携がさらに必要である。
- ・今後、看護師の配置校が増えることが予想されるため、校外学習や宿泊学習時の対応等、共通理解できるよう、四街道市の医療的ケアのガイドラインを整備していく必要がある。

## 8 弱視特別支援学級の開設について

(1) 設置校 四街道市立山梨小学校

(2) 設 置 令和7年4月1日

(3) 在籍児童数 1名

(4) 指導・支援内容

- ・学習や運動等の苦手さを軽減し、自信を高めるための指導、支援
- ・情緒の安定
- ・社会性の発達
- ・保護者、学級担任への支援

等

(5) 教員の研修

- ・千葉盲学校の教諭を講師に年3回校内研修（校内全教員対象）
- ・（県総合教育センター主催）特別支援学級新任教員研修
- ・県特別支援アドバイザーによる指導・助言

(6) 市教育委員会より支援

- ・学習用具（点字プリンタ・拡大読書器・パーキンス・iPad・点字教科書）
- ・施設改修（点字ブロック設置・階段手摺・緩衝材設置）
- ・特別支援教育支援員を配置

## 令和7年度 青い麦の子振興ふれあい運動会について

標記運動会について、下記のとおり実施した。

### 1 概要

- 主催 印旛特別支援教育研究連盟  
印旛地区特別支援学級設置校校長会  
四街道市教育委員会  
四街道市教育研究会特別支援教育研究部
- 日時 令和7年10月15日(水) 9:00～14:00
- 会場 四街道総合公園体育館(メインアリーナ・サブアリーナ)
- 内容 (1) 市内小中学校特別支援学級在籍児童生徒の交流  
・<午前>ふれあい運動会 <午後>頒布会  
(2) 特別支援教育についての理解・啓発の促進  
・各学校特別支援学級紹介記事の市ホームページへの掲載  
公開期間 令和7年10月1日(水)～令和8年10月  
※1年間公開することとした。
- [https://www.city.yotsukaido.chiba.jp//b\\_education/elementary\\_middle/school\\_education/aoimuginoko.html](https://www.city.yotsukaido.chiba.jp//b_education/elementary_middle/school_education/aoimuginoko.html)



### 2 行事を終えて

#### <成果>

- ・今年度も市民の参観を可能としたため、放課後等デイサービスの方等、児童生徒に関わる方々にも児童生徒の活動の様子を参観していただくことができた。(市民の参観25名)
- ・中学生が全体を牽引している姿が良かった。
- ・頒布会は、大盛況であった。児童生徒にとって、計算、商品の宣伝、接客対応など、社会に出て筆湯女要素が多く含まれており、教育効果のある活動である。

#### <課題>

- ・競技で一部安全面で危険な箇所があった。用具の工夫で改善していきたい。
- ・他の市町にはない四街道ならではの行事がさらに良くなり、市民の方にもさらに周知できるとよい。

〈保護者より〉

- ・ 係の仕事をして活躍する姿を見て感動した。
- ・ 普段登校できない生徒が参加でき、とても良い機会となった。
- ・ 毎年実施していて、良い活動である。
- ・ 子ども達が頑張っている姿を見ることができてうれしかった。(放課後等デイサービス職員)

<開会式> 9:50~

No.	司会:千代田中学校	
1	はじめのことば	大日小学校
2	主催者あいさつ	
3	来賓あいさつ	
4	来賓紹介	
5	選手宣誓	赤白応援団長
6	おわりのことば	旭小学校

<閉会式> 11:30~

No.	司会:南小学校	
1	はじめのことば	山梨小学校
2	主催者講評	
3	エール交換	赤白応援団長
4	おわりのことば	栗山小学校

◇プログラム

No.	種目名	競技対象	予定開始時刻
1	応援合戦	全 員	10:05
2	高学年競技 「おとさずはこべ!宅急便」	小学4年生~6年生	10:20
3	低学年競技 「ダンシング玉入れ」	小学1年生~3年生	10:45
4	中学生競技 「SASUKE」	中学1年生~3年生	11:00
5	ダンス 「ジャンポリミッキー」	全 員	11:20

生徒児童が  
運動会の係を  
行っています



応援	赤:旭中学校	白:四街道中学校
放送	八木原小学校	
出発	四街道西中学校	吉岡小学校
決勝	和良比小学校	四街道中学校
賞品	四和小学校	中央小学校
	みそら小学校	
用具	四街道北中学校	四街道小学校
	栗山小学校	山梨小学校

